



会 報

第 274 号

— 新支部長紹介 —

平成 29 年 4 月に宮城県支部の支部長に就任されました、木曾 賢一先生に登場していただきました。



宮城県支部長
木曾 賢一 先生

プロフィール

- 昭和 23 年 11 月 秋田県横手市に生まれる
- 昭和 40 年～ 46 年 商工会議所主催「東北珠算大会」で 7 年連続「そろばん東北 1 位」受賞
- 昭和 41 年 11 月 専修大学主催「全国高校珠算大会」個人総合の部と読上暗算の部優勝
- 昭和 47 年 1 月 木曾珠算教室設立(現・木曾珠算学院)
- 昭和 48 年 3 月 東北学院大学経済学部卒業
- 昭和 50 年 4 月～ 55 年 3 月 東北高校勤務(講師)
- 昭和 56 年 4 月～ 61 年 3 月 常盤木学園高校勤務(講師)
- 昭和 59 年 4 月～平成 6 年 3 月 仙台市立仙台商業高校勤務(講師)
- 昭和 61 年 4 月 全国珠算学校連盟宮城県支部初代支部長に就任
- 平成 8 年 3 月 同支部長退任
- 平成 29 年 4 月 全国珠算学校連盟宮城県支部 支部長に就任、現在に至る

<趣味> 読書

<座右の銘> (好きな言葉) 「前向きに生きる」

<抱負> ～宮城県支部長就任にあたり～

微力ではありますが、宮城県支部発展に貢献出来るようがんばります。

第 36 回 全日本珠算技能競技大会報告

平成 29 年 7 月 31 日(月)東京都渋谷区代々木の「国立オリンピック記念青少年総合センター」にて、第 36 回全日本珠算技能競技大会が開催されました。今年度は、1964 年に開かれた東京オリンピックの選手村を記念して開設されたオリンピック記念青少年総合センターに開場を移して開催。これまでの最多の 244 名(第一部 125 名、第二部 119 名)の北海道から沖縄まで全国各地の支部から選抜された選手に加え、モンゴルから選抜された 7 名の選手が参加し、猛暑の中、国際色豊かな熱戦が繰り広げられました。大会には来賓として、衆議院議員で学校連盟名誉会長の細田博之先生並びに文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室長の廣野宏正様、英語読上算教育協会会長の鈴木功二先生のご臨席をいただきました。また、今年度は団体戦が廃止となり、個人総合競技の 1 部・2 部の優勝者 2 名へ文部科学大臣賞が授与されることになったと会長から報告がありました。

開会式は、昨年度第 1 部・第 2 部の団体総合を制覇した宮城県と三重県からの優勝旗返還と山中会長の挨拶から始まり、細田名誉会長の祝辞、文部科学省廣野室長のご祝辞と英語読上げ算協会の鈴木先生のご祝辞と続き、義家弘介文部科学副大臣、日珠連益田理事長、全珠連梶川理事長からの出場選手への激励の祝電が披露されました。以下、選手宣誓から始まる熱戦の状況や今大会の成績を含めご報告いたします。

第 36 回 全日本珠算技能競技大会



開催日時 平成 29 年 7 月 31 日(月) 午前 9:30
 会場 (東京) 国立オリンピック記念青少年総合センター
 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 ☎(03)3469-2525
 後援 文部科学省
 主催 公益社団法人 全国珠算学校連盟 ☎052-732-5051



祝辞を述べられる細田名誉会長



祝辞を述べられる廣野 文部科学省専修学校教育振興室長



挨拶する山中会長



大会々場 (国際交流棟)

競技大会の様子



祝辞を述べられる鈴木功二先生（英語読上算教育協会々長）



挨拶するウングリアさん（モンゴル珠算教育協会役員）



大会役員の皆さん



モンゴルからの精鋭7名



大会問題の開封（蓮井競技委員長）



競技スタート前の緊張の瞬間



熱戦の様子



真剣な戦いが続く



個人総合同点決勝に挑む4名



沢山のギャラリーに囲まれて

個人総合競技



個人総合第1部優勝 井上莉里さん (石川県)



個人総合第2部優勝 杵川日向雅さん (三重県)



個人総合第1部準優勝 伊藤聡馬くん (宮城県)



個人総合第2部準優勝 松川りかさん (宮城県)

第1部 個人総合競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名	得点
優勝	053	井上 莉里	いのうえ りり	小6	石川県	900
準優勝	016	伊藤 聡真	いとう そうま	小5	宮城県	895
第2位	019	遠藤 健斗	えんどう けんとう	小6	宮城県	875
	022	田川 遼	たがわ りょう	小6	宮城県	870
	018	林 春貴	はやし はるき	小5	宮城県	865
	078	小谷 涼太	こたに りょうた	小6	三重県	860
	036	上田 祐	うえだ ゆう	小6	千葉県	855
	017	林 諒	はやし りょう	小3	宮城県	855
	020	吉田 佳叶	よしだ かの	小6	宮城県	845
	106	出口 慶悟	でぐち けいご	小6	山口県	830
	021	吉田 成希	よしだ なの	小4	宮城県	810
	023	花房 華穂	はなぶさ かほ	小5	宮城県	805
第3位	046	塩川 慶規	しおかわ よしき	小6	長野県	780
	047	松田 祐奈	まつだ ゆきな	小5	新潟県	780
	055	田辺 真裕子	たなべ まゆこ	小5	石川県	775
	082	逢野 琴葉	おのの ことば	小6	大阪府	770
	014	山本 優菜	やまもと ゆな	小5	岩手県	765
	012	小林 拓史	こばやし たくみ	小6	岩手県	765
	037	深谷 柚衣	ふかや ゆい	小3	千葉県	750
	011	新喜 美音香	しんき みねか	小6	北海道	740
	051	遠藤 春	えんどう はる	小3	新潟県	735
	015	吉川 咲来	よしかわ さくら	小5	岩手県	735

第2部 個人総合競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名	得点
優勝	278	杵川 日向雅	きねかわ ひゆうが	高3	三重県	900
準優勝	214	松川 りか	まつかわ りか	中2	宮城県	900
第2位	279	津谷 美由紀	つや みゆき	高2	三重県	900
	208	吉川 光希	よしかわ こうき	中1	岩手県	885
	281	廣澤 龍典	ひろさわ たつのり	大4	三重県	885
	210	遠山 学	とおよま まなぶ	大2	宮城県	885
	209	佐藤 光人	さとう みつひと	中2	岩手県	885
	218	菊池 晃広	きくち あきひろ	大3	宮城県	885
	215	亀山 太陽	かめやま たいよう	高1	宮城県	885
	216	遠山 諒	とおよま りょう	一般	宮城県	875
	240	梁田 千鶴子	やなだ ちづこ	高2	東京都	875
	224	赤羽根 歩実	あかばね あゆみ	高1	栃木県	875
第3位	207	白勢 央樹	しらせ ひろき	中3	岩手県	875
	288	中村 仁紀	なかむら まさのり	中1	兵庫県	875
	292	島崎 是人	しまざき よしと	大1	兵庫県	870
	247	花岡 愛実	はなおか まなみ	中3	長野県	870
	302	出口 桜子	でぐち さくら	中2	山口県	870
	237	栗原 亮介	くりはら りょうすけ	大4	東京都	865
	253	青木 真太郎	あおき しんたろう	中1	新潟県	865
	245	東 賢司郎	あずま けんじろう	高3	神奈川県	860
	212	阿部 七菜美	あべ ななみ	中3	宮城県	860
	211	遠山 美幸	とおよま みゆき	大1	宮城県	850

※ 平成30年8月インドネシアでの世界大会へ杵川選手の派遣決定！！

種目別競技（読上暗算）



読上暗算 第1部準優勝林晴貴くん（宮城県）優勝井上莉里さん（石川県）第2部優勝遠山学さん（宮城県）準優勝 杵川日向雅さん（三重県）

第1部 読上暗算競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名
優勝	053	井上 莉里	いのうえ りり	小6	石川県
準優勝	018	林 春貴	はやし はるき	小5	宮城県
第2位	017	林 諒	はやし りょう	小3	宮城県
	024	花房 一輝	はなぶさ かずき	小3	宮城県
	036	上田 祐	うえだ ゆう	小6	千葉県
	081	前原 優月	まえはら ゆづき	小5	三重県
	014	山本 優菜	やまもと ゆな	小5	岩手県
	020	吉田 佳叶	よしだ かの	小6	宮城県
第3位	021	吉田 成希	よしだ なの	小4	宮城県
	012	小林 拓史	こばやし たくみ	小6	岩手県
	016	伊藤 聡真	いとう そうま	小5	宮城県
	019	遠藤 健斗	えんどう けんと	小6	宮城県
	023	花房 華穂	はなぶさ かほ	小5	宮城県

第2部 読上暗算競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名
優勝	210	遠山 学	とやま まなぶ	大2	宮城県
準優勝	278	杵川 日向雅	きねかわ ひゆうが	高3	三重県
第2位	215	亀山 太陽	かめやま たいよう	高1	宮城県
	201	荻野 真緒	おぎの まお	中1	北海道
	209	佐藤 光人	さとう みつひと	中2	岩手県
	207	白勢 央樹	しらせ ひろき	中3	岩手県
	257	松田 曉亮	まつだ きょうすけ	中1	新潟県
	260	埴生 智洋	はにゆう ともひろ	高3	石川県
第3位	279	津谷 美由紀	つや みゆき	高2	三重県
	214	松川 りか	まつかわ りか	中2	宮城県
	289	河本 力	かわもと ちから	高1	兵庫県
	292	島崎 是人	しまざき よしと	大1	兵庫県



読上暗算第1部入賞の皆さん



読上暗算第2部入賞の皆さん

種目別競技 (読上算)



読上算 第1部準優勝 田辺真裕子さん(石川県) 優勝 小林拓史くん(岩手県) 第2部優勝 花岡愛実さん(長野県) 準優勝 杵川日向雅さん(三重県)

第1部 読上算競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名
優勝	012	小林 拓史	こばやし たくみ	小6	岩手県
準優勝	055	田辺 真裕子	たなべ まゆこ	小5	石川県
第2位	013	白勢 泰基	しらせ やすき	小6	岩手県
	014	山本 優菜	やまもと ゆな	小5	岩手県
	032	渡辺 元太郎	わたなべげんたろう	小6	埼玉県
	015	吉川 咲来	よしかわ さくら	小5	岩手県
	017	林 諒	はやし りょう	小3	宮城県
	036	上田 祐	うえだ ゆう	小6	千葉県
第3位	029	星野 瑛太	ほしの えいた	小6	栃木県
	019	遠藤 健斗	えんどう けんとう	小6	宮城県
	047	松田 祐奈	まつだ ゆきな	小5	新潟県
	049	藤田 優羽	ふじた ゆう	小6	新潟県
	060	井上 七海	いのうえ ななみ	小5	石川県

第2部 読上算競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名
優勝	247	花岡 愛実	はなおか まなみ	中3	長野県
準優勝	278	杵川 日向雅	きねかわ ひゆうが	高3	三重県
第2位	204	三宮 菜々姫	さんみや ななき	中2	北海道
	208	吉川 光希	よしかわ こうき	中1	岩手県
	214	松川 りか	まつかわ りか	中2	宮城県
	230	五十嵐 泰斗	いがらし たいと	中2	埼玉県
	279	津谷 美由紀	つや みゆき	高2	三重県
	209	佐藤 光人	さとう みつひと	中2	岩手県
第3位	237	栗原 亮介	くりはら りょうすけ	大4	東京都
	201	荻野 真緒	おぎの まお	中1	北海道
	251	高沢 ひかり	たかさわ ひかり	中1	長野県
	259	宮崎 翔平	みやざき しょうへい	一般	石川県



読上算上位入賞者の皆さん



読上算競技の様子

種目別競技 (フラッシュ暗算)



フラッシュ暗算 第1部 準優勝 岩田誠くん(愛知県) 優勝 井上莉里さん(石川県) 第2部 優勝 杵川日向雅さん(三重県) 準優勝 島崎是人さん(兵庫県)

第1部 フラッシュ暗算競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名
優勝	053	井上 莉里	いのうえ りり	小6	石川県
準優勝	068	岩田 誠	いわた まこと	小5	愛知県
第2位	012	小林 拓史	こばやし たくみ	小6	岩手県
	014	山本 優菜	やまもと ゆな	小5	岩手県
	019	遠藤 健斗	えんどう けんとう	小6	宮城県
	078	小谷 涼太	こたに りょうた	小6	三重県
	095	金吉 叶太	かねよし かなた	小5	島根県
第3位	016	伊藤 聡真	いとう そうま	小5	宮城県
	017	林 諒	はやし りょう	小3	宮城県
	029	星野 瑛太	ほしの えいた	小6	栃木県
	047	松田 祐奈	まつだ ゆきな	小5	新潟県
	055	田辺 真裕子	たなべ まゆこ	小5	石川県
	106	出口 慶悟	でぐち けいご	小6	山口県

第2部 フラッシュ暗算競技入賞者

順位	選手番号	選手名	ふりがな	学年	支部名
優勝	278	杵川 日向雅	きねかわ ひゅうが	高3	三重県
準優勝	292	島崎 是人	しまざき よしと	大1	兵庫県
第2位	216	遠山 諒	とおよま りょう	一般	宮城県
	210	遠山 学	とおよま まなぶ	大2	宮城県
	214	松川 りか	まつかわ りか	中2	宮城県
	296	福田 美有	ふくだ みゆう	高1	島根県
	279	津谷 美由紀	つや みゆき	高2	三重県
	第3位	289	河本 力	かわもと ちから	高1
217		堀込 那由太	ほりごめ なゆた	中1	宮城県
215		亀山 太陽	かめやま たいよう	高1	宮城県
260		埴生 智洋	はにゆう ともひろ	高3	石川県
245		東 賢司郎	あずま けんじろう	高3	神奈川県
288		中村 仁紀	なかむら まさのり	中1	兵庫県



フラッシュ暗算の大画面



閉会式での大会講評 (山中博詞大会副会長)

岩手県支部便り

平成 29 年第 36 回全日本珠算技能競技大会で種目別競技の読上算の第 1 部(小学生の部)で優勝した小林拓史(たくみ)くんについて、地元の岩手日報社へ報告したところ、競技大会の様子や小林君の日頃の練習への姿勢などの取材記事が8月18日の朝刊に掲載されましたので、ご報告します。(岩手県支部長 及川實)

(岩手日報 8月18日朝刊)



読上算協議の様子

全日本珠算技能競技大会会場(全景)



国立オリンピック記念青少年総合センター

第 46 回 全国珠算学校集合研修会の報告

平成 29 年 8 月 23 日 (水) 第 46 回全国珠算学校集合研修会 於：ホテルオークラ神戸



挨拶する山中会長



歓迎の挨拶 (蓮井兵庫県支部長)



講師の先生 (立木先生/宮永先生)



参加者を出迎える兵庫県支部の皆さん

平成 29 年 8 月 23 日 (水)・24 日 (木)、神戸市メリケンパーク近くの「ホテルオークラ神戸」に於いて兵庫県支部のご協力のもと第 46 回「全国珠算学校集合研修会」が開催されました。残暑厳しい中、全国各地から多数の会員および一般の方々に参加されました。

8 月 23 日 (水) 午後 2 時 30 分からの研修会に先立つ開講式では、山中会長の挨拶から兵庫県支部を代表して蓮井慶太郎支部長の歓迎のことばと続き、研修会第 1 講からスタートしました。

第 1 講では、播州そろばん産地から(株)ダイイチ会長の宮永英孝先生のそろばんの歴史や、産地の現状など珠算界の現状に関連するお話があり、第 2 講では、学校法人として、幼稚園を初めいくつかの珠算学校を運営されている立木学園理事長で学校連盟の常任理事として、多大な貢献をされている立木博先生より、珠算教育の現場から、地域に愛される珠算教室をテーマに大変参考になるお話がありました。第 3 講では、平成 27 年度から発足した学校連盟の「新世代の会」代表の見目光治先生より、最近実施した会員向けのアンケート結果に基づく連盟の会員の現状や今後の展望などと共に、珠算界が直面する課題などが報告されました。

研修会終了後は、神戸の美しい夜景や明石海峡大橋を望みながらのクルーズで上質で豪華な雰囲気の中でのディナーを楽しみ、翌日の午前解散。同日に理事会が開催されましたので、研修会の講演の概要と理事会での関連する議案など含め、以下ご報告いたします。

第一講「播州そろばんの過去・現代・これから」

講師 宮永 英孝 先生



講師プロフィール

昭和49年 専修大学経営学部卒業後 宮永実治商店入社
平成27年 株式会社ダイイチ 代表取締役会長就任
平成14年 近畿経済産業局 局長表彰
平成19年 兵庫県商工功労 表彰
平成23年 経済産業大臣 表彰

播州算盤工芸品協同組合 理事長 他各種要職を務める

座右の銘・好きな言葉

「有言実行」「為せば成る、成さねばならぬ何事も」

「思い立ったが吉日」「播州そろばんは永遠に不滅だ」

第1講では、播州そろばんの産地の小野市で伝統工芸としての「そろばん」造りに貢献されている(株)ダイイチの会長である宮永先生による播州そろばんにまつわるお話をして頂きました。

▼過去にさかのぼり、そして現在まで・・・「なぜ小野市でそろばん造りが始まったか」

室町時代に中国から長崎にそろばんが伝来し、更に長崎から大津市に伝わり 大津市から播州(兵庫)・雲州(島根)に伝わり、現在では播州・雲州の二つの地域のみでそろばんが造られている。小野市でそろばん造りが始まったのは、隣の三木城が秀吉によって兵糧攻めにあった時、住民が大津市に逃れ、そこでそろばん製作技術を学び三木市に帰郷し、そろばん造りを始める。それが小野市に伝わり、その後三木市は金物の町になり、小野市がそろばんと金物の両方を生産する町になったと言われている。

小野市では伝統を守りながら地域ごとの分業体制でそろばんを製作。市全体が播州そろばん株式会社の様相で、昭和35・36年には年間350万丁のそろばんを製造。ほぼ毎日1万丁のそろばんを作っていた事になります。しかし、昭和30年代後半から電卓が出現し、父の日記には「とんでもない物が出て来てきたが、心配にあらず。」と記載されていますが、数年後の日記には「こりゃいかん、とんでもないことになるかも知れない。」と書かれていました。その後、計算道具として電卓が世の中を席卷し、そろばんは使われなくなってしまった。当時は銀行や郵便局、国鉄など、計算道具はそろばんしか無く、そろばんの生産量は増加していましたが電卓(ワープロなども含め)が急速に普及し、そろばんの売れ行きは極端に減少。文部省(当時)の小学校のそろばん授業廃止が追い打ちをかけ、そろばんの生産量は減少の一途でした。そんな中でも「読み・書き・そろばん」という言葉が400年以上前から伝えられており、そろばんは無くならないと信じていました。今では「読み・書き・そろばん」とは「数字が読める・数字が書ける、そしたらそろばんが出来る」という意味もあると説明しています。「4歳の子でも数字が読めて書ければ、十分にそろばん出来るようになる。」と保護者と子供たちに伝えています。

各地でそろばん造りのワークショップをやっていますが、今年の8/18～20、東京・浅草で「世界に一つだけのそろばんつくり」を開催し、毎日85人の予約で満員に。そろばん造りから入ってそろばんはどう使うか、そろばんの面白さ、効能などワークショップを通してその良さを伝えている。

宮永先生は、そろばん製造の家に生まれお世話になり、66歳になりますが、一生をそろばんに育てていただいたと感謝されている。4年前には長男と次男が後を継ぐ形で当社に入り、長男が社長、次男がそろばんの製造現場で工場長をしている。

二十歳前の若い2人と、49歳の社員と工場長含め4人でそろばんの生産に携わり地元では一番若いそろばん工場です。



宮永先生講演の様子

▼「珠のれん」が売れに売れた時代がありました。

年間 350 万丁生産していたそろばんが全く売れなくなった時期、そろばんの珠を削る技術から丸玉を作ろうということになり、丸玉で「珠のれん」を製作しました。昭和 30 年後半から飛ぶように売れ、現金をもって東京から小野市まで「珠のれん」を買い付けに来る人が沢山いた程です。

そうした中でそろばん製造から珠のれん製造に移る業者が沢山出ましたが、「珠のれん」が或る日突然売れなくなった。理由は簡単で、ぶら下がっている珠のれんに女性の髪の毛が引っかかった。その為、珠のれんは駄目だという事が広まり、一気に売れなくなり今では 1 社だけになりました。

▼珠削り・珠仕上げ・桁作り・組立の工程の説明（映像を使用）

今では播州算盤製作も「珠削り 2 人、珠仕上げ 2 人、桁作り 2 人、組立 13・4 人で総勢 20 数名」で製造しているのが現状です。高齢化が進み今後どうなっていくか心配ですが、我々の時代にそろばんが無くなってはいけませんので、色々と考えながら頑張っています。お見せした動画の様にそろばんは手間をかけて製造しており、先生方からも「そろばんを安くして欲しい」との要望がありますが、こうした現状をご理解いただき、「適正な価格での購入にご協力を」お願いしたい。

▼栄光から挫折の時代へ

現在、播州算盤工芸品協同組合の組合員は 70 社から 9 社に減り、算盤部会と工芸品部会に分かれ、算盤部会は 3 社、工芸品部会は 6 社。1 社が来年 3 月には退会するので残り 8 社で組合を守りたいと考えている。

▼児童生徒に対する教育事業／そろばん一丁運動など

協同組合は平成 13 年から小野市内の小学校で 23 桁のそろばんを作る体験授業を実施、16 年続いている。こうした運動で小野市内約 10,000 人の生徒達がそろばんを持っており、小学校時代にそろばんを作った子供さんが、先生として小学校に赴任している方もいます。

また、協同組合では赤ちゃんから 25 歳までの人全員がそろばんを持つ町にしようと、平成 19 年より生まれたばかりの赤ちゃんに名前と生年月日を刻印したそろばんをプレゼントする事業始めました。小野市からはいずれ支援したいと言われましたが応援は無く、結果的に 2,646 名にプレゼントし約 400 万円費用を負担。市に支援を要請するも援助は無く中止に追い込まれました。宮永先生が生まれた昭和 26 年生まれは 230 万人だが、平成 27 年には 100 万人割っており、高等学校珠算競技大会も 55 回で廃止となるなど、少子化の影響が出ている。

▼そろばんビレッジ開設など（平成 24 年）

開設から 5 年経ちますが、海外含め年間に 3,000 人が参加している。自由なそろばん作りを通して、子供達にそろばん学習に興味を持ってもらいそろばんを習いたいという形にもっていこうとしています。また、「そろばんは使わない人が買う時代」というキャッチコピーで色々商品開発を実施。



そろばん造りの職人技紹介



熱心に聴講する参加者



総会司会の蓮井先生

▼海外向けに播州そろばんの普及活動

グローバル化が進む時代で、海外にソロバンをどう伝えるか考え、これまでレバノン、台湾、シンガポール、ベトナム、インド、オランダ、独、カンボジア、アメリカなどに出向いてソロバンの普及に取り組んできた。シアトルの佐野先生と言う方の場合、珠算教室開設6年目で160名の生徒さんを抱えている例などあり。生徒の構成で1番はインド人、2番中華系、3番目に現地滞在の日本人の子供達で、アメリカ人は2人のみ。海外で展開する場合は、「そろばんを学んだら、何が出来るか」など、しっかり説明が必要。

▼これからのそろばん界について

そろばん製造に携わる職人も高齢化してこのままではそろばんが無くなるという危機感の下、今年（2017年）に「そろばん工房館建設実行準備委員会」を設け、来年には「そろばん工房館建設実行委員会」を設立したい。2021年に着工予定で建設費用は4億円程度、播州算盤工芸品協同組合では4分業を一箇所にまとめ、年間15万人の観光客の見学を目標にしている。姫路城には年間120万人が訪れており、また小野市の隣、東条湖おもちゃ王国には年間50万人の子供が来ている。こうした好立地を生かしそろばん造りなどで子供たちを呼びたい。行く行くは「そろばん工房館」の中にそろばん造りの場所と教育的なカリキュラムを考え子供たちに来てもらおうと考えている。

終りに、近年は学習塾がどんどん参入してきているが、共存・共栄して行けば、珠算界はもっと発展することが出来るのではないかと。珠算の先生方には「自分の教室にはこれだけの素晴らしいものがある」と言える特色を持たせ、近くに競争相手が現れても大丈夫だと思います。そうした特色を磨いて、先生方にはこれからも頑張ってもらいたいと思います。

以上、宮永先生からはそろばん製作現場と珠算教育との関係性と将来の展望について語って頂き、今後もお互いに協力して行きたいとのメッセージでした。

第二講 「地域に愛されるそろばん教室」

講師 立木 博 先生

講師プロフィール

昭和37年 立木珠算教室開校
 昭和53年 岐阜県認可 立木珠算学校開校
 平成11年 岐阜県認可 立木書道学校開校
 平成21年 学校法人 立木学園理事長就任
 座右の銘 創造・感動
 経営方針 愛と和の教育をめざす
 地域社会に必要とされる教育の確立



地域に愛されるそろばん教室 生徒には優しく、よく分かるように教えてくれる教室
 保護者には信頼される教室 そろばんの先生には多くの生徒さんが来てありがたい教室
 ※目標を持ち、人よりちょっと努力し、やり続けること

学校連盟の総務委員長として多大な貢献をされている立木先生から、ご自分の学校経営についてお話を頂きました。「地域に愛されるそろばん教室」をテーマに珠算塾開設から始まる立木学園の歴史からスタートされました。

▼立木珠算教室の開校

昭和 37 年 4 月に立木珠算教室開校。それまでは、戦後の混乱期を駆け抜け小学校の 4 年の時初めてそろばん塾で習う。暇つぶしにそろばん教室に行っている状態で、その後、商業高等学校に入り卒業時には不景気で卒業しても就職する所がなく珠算学校で助手を始める。岐阜県揖斐郡大野町で 24 歳の時、田舎の家を借りそろばん塾を開校。また、夏休みを利用して、小学校で日曜教室を開きそろばんを教える。そうこうして数年後には、初めて家を建て自前の教室を開校。結婚後は助手を雇ったりして、どんどん教室を作りました。



熱心に聴講する参加者



熱心に聴き入る参加者



熱のこもったお話をされる立木先生

▼岐阜県認可 立木珠算学校・立木書道学校開校

当時、岐阜県にはそろばん教室を経営している若い人が 5 人程おり、それぞれ一生懸命やっていたが、珠算の各連盟には加入出来なかったところ、今の岐阜県支部長大石先生のお父さん(元岐阜県支部長)の尽力で 5 人とも全珠学連に入会する事ができ、昭和 53 年 12 月に岐阜県の認可校になる。珠算学校を経営しながらも自分は他所から来たよそ者で地域では信用が無いので、地域の役員、町内会長や区長、子供の小学校の PTA 会長など積極的に引き受け自分なりに地域に貢献をする。40 歳の時に地元のライオンズクラブにも加入し地域の信用を得るよう努める。こうした行動が地域に愛されるそろばん教室の初めだと思う。

▼学校法人立木学園 理事長に就任／大野クローバー幼稚園開設

最初に珠算学校と書道学校を合わせた学校法人を設立し、地域社会に必要とされる教育の確立を担うためにも、今度は地域に愛される幼稚園を設立したいと町長に陳情。認可申請にあたって既設の幼稚園などから強い妨害に会い、かなり苦勞の末、平成 21 年 4 月に「大野クローバー幼稚園」を開園する事ができた。今では翌年の募集に際し前年の 6 月には定員オーバーとなり抽選で園児募集が出来る様になりました。

▼地域に愛されるそろばん教室として何をするべきか。

職員を採用する際は若々しい気持ちを持った人を。誰しも歳を取るが、若々しい気持ちを持つことはできる。身だしなみに気を付けオシャレをする気持ちが大事。また、生徒に接する時は笑顔と褒めること。同時に自分も新鮮な気持ちで色々な物事に好奇心や興味をもってやって欲しい。その為にも研修会に参加したり、他の教室の内容を調べたり、そろばんの月刊誌を読んだり、教材の販売業者の話を聞いたりするなど珠算教室の置かれた現状を知り、授業に反映させることが大切である。

▼生徒募集

ホームページの開設・新聞折り込みチラシなど、即効性はないものの長く見守る事が必要。募集の結果が悪い時、少子化で時代が悪い・他の習い事が多いなどと責任転嫁するのではなく、自分の努力不足だと思う事。子供が多くいる所で、徐々に子供が少なくなったら、沢山いる所で開けば良い、生徒が集まらないのは努力が足りない。競争が不可欠。また、色々な理由で辞める生徒もいるが、辞める子も親も大切に、町中で声をかけてくれたり、親が生徒を紹介してくれる事もある。

▼常に生徒の事を考える

生徒を叱る時は、どう話したら先生の気持ちが伝わるか、先生が何故怒っているのか、理由等が分かる様に叱るべきだが、褒めることは簡単でも叱る事は本当に難しい。生徒のプライドを傷つけない様に何故怒っているのか、理解できる様に指導することが大切。

▼やっぱりそろばんはすごい！そろばんは算数嫌いの救世主

学園では次の様な内容の文書を保護者に渡している。

そろばん学習は自習が基本、教えられるのではなく自分の力で上達していく教育で、その手ごたえが感じられ子どもは進んで学ぶ。そろばんは、子どもたちの脳の扉を開く。保護者のアンケートで多かった意見は「計算が速くなった」「集中力や忍耐力がついた」「コツコツ努力する自学自習の習慣がついた」「自信がついた」「物事をテキパキと処理できるようになった」等でした。そろばんを通して学習への心構えが身に付いたという事ではないでしょうか。数字を見て、瞬時に指を動かして答えを出す。この作業が脳を活性化させます。教職員一同、子供たちと共に成長していきたいと思っています。

▼教職員の皆様へ

最後に、教職員の皆様へと題し、立木先生からの参加者への貴重なアドバイスの数々です。

「各人の創意工夫を生かして教室を活性化させましょう！！」

まず、反省してみましょう。

- 読上算・読上暗算の得意な生徒の期待に充分応えていますか。
- できない生徒を叱り過ぎていませんか。
- 生徒の能力や学年の違いを充分把握して、授業を展開していますか。
- 前年や前月と比較して、指導は進歩していますか。
- 生徒は、自分の授業に満足していると思いますか。
- 生徒の目は「やるぞ」という気持ちで輝いていますか。

次のようなことから始めてみましょう。

- 毎日、一人一人に一声かけてあげましょう。
- 父兄とのコミュニケーションや、生徒とのスキンシップを取りましょう。
- 今月誕生日の生徒には、メッセージを送ってあげましょう。
- 教室の中に、花一輪を飾って、新鮮な気持ちで授業に臨みましょう。
- 一日一題でいいから、理解できるまで、徹底して指導してみましょう。
- 読上算・読上暗算の問題を最低5題、読んであげましょう。
- 見取算や除算の点数を上げるための指導をしましょう。

終わりに、立木先生から研修会参加の先生方へ以下、力強いメッセージです。

常に自分には負荷をかけて目標の設定のバーを上げること、他の塾と同じことをしては意味がない、人生に「後でやろう」はない。元気な今のうちにやろう。まだまだ、元気なうちはそろばん教室運営に頑張ろうと考えております。



会場のホテルオークラ神戸



ディナークルーズ（ルミナス号）

第三講「新世代の会からの提言～アンケート報告～」 新世代の会代表（栃木県） 見目 光治 先生

平成 28 年 10 月に学校連盟「新世代の会」が発足。昨年末から今年にかけ新世代の会による会員向けのアンケートが実施され、会報でも一部結果が掲載されているが、その結果について今回、集合研修会の機会に、新世代の会からの提言をまじえて、代表の見目先生より詳しく発表されました。

▼アンケート結果など

今までの活動として、全国の支部長を通して会員にアンケートを実施。回答率は約 5 割。5 割の回答で「将来、塾をどうしますか」などの問いに対して、「辞めたい、継続はしない」という先生方の教室の生徒総数は約 5,000 名と推察されます。こうした教室の閉鎖で近い将来 5,000 人の生徒がそろばんを学ぶ場を失い、習いたくとも習えないという事になる。今後、こうした問題に対して総合的な意見を募って具体的な対策を検討したいと思っています。



▼新世代の会として、これからどういうことをやっていきたいか

新世代の会の執行部として見目と富山の木谷先生、千葉県の中島先生、池田先生が何度かミーティングを持ち、これから新世代の会をどの様に運営していこうかと話し合いました。幾つか意見が出ましたので発表します。

1. 塾運営・後継者の育成など塾の存続に関する事
2. 競技生の育成 3. 算数教育 4. 幼児・保護者教育

これら四つの分野に分けて、それぞれグループを作り研修などを行っていききたい。更に、自身が運営する教室に関する資料・情報などの積極的な公開を進める。珠算界自体のピーアールが不足しており、ピーアール方法等についても話し合う。

今後こうした課題について、各種の SNS を活用して情報交換を進めたいと考えています。活動を通し会員同士の親睦・交流、塾の相互見学等を積極的に行って行きたい。

この先 10 年から 15 年後、教室を閉鎖して引退される時には、その地区の塾が無くなり空白地帯になってしまう可能性がある。こうした状況の中、塾を閉鎖する際、各支部・本部にお願いしたいのは、その地域からそろばん塾を無くしてしまうのではなく、支部が窓口になって、後継者や教室の存続の方法など相談できる体制を作れないか、支部内で話し合えたら良いのではないかな。

また、ある地域で一つの塾が独占するのではなく、幾つかの塾が競争していく方がそろばんを習う生徒は間違いなく増える。近くに塾があるから困るということではなく、競争しながら高め合い塾生を増やして欲しい。自身も 40 ヶ所位の教室を運営しているが、他の塾と競合している教室の方が活気があり、子供たちも沢山来る。選んで貰える教室にするようにと日頃から職員に言っているところ。そろばん教室を増やす為には身内から増やしていかなければ増えていかない。宮永先生のお話の中でも、どの地区でも沢山の学習塾が新規参入しているというのですが、自分の地元でも参入があり、歓迎しています。

問題はそろばんの指導者が高齢化していることに加えて後継者がいないという事だと考えます。珠算塾がビジネス的に安定し、それなりの収入があれば魅力のある職業として新規に参入してくる人も、後継者（息子・娘さん）も安心して、後を継ぐ気持ちになるのではないのでしょうか。

以上、まとまらない話になりましたが、新世代の会はまだまだ力不足です。この会を、これからのそろばん界に役に立つ会に成長させたいと思っております。今後、研修会など勉強会や集まりがある時は、若い後継者やお手伝いをしている方を出席させていただければ、交流も図れますので、宜しく願いいたします。



熱心に聴講する参加者

集合研修会・懇親会などの様子



ホテル玄関前の研修会看板



同時開催の教材展示会



熱心に聴講する参加者



そろばんの歴史を語る宮永先生



研修会の様子



そろばん作りの職人技の紹介



熱心に聴講する参加者



研修会の様子



講師への謝辞（兵庫県支部 久保田先生）



懇親会（ディナークルーズ）



クルーズ船からの明石海峡大橋



ディナークルーズの様子

珠算検定試験準3級新設について（検定委員会からの報告）

かねてから各県支部から要望が出ておりました珠算検定準3級の導入について、検定委員会等で慎重に検討を重ねてきた結果、この程、新設する準3級検定の問題内容・程度等が確定し、8月24日(木)に神戸市「ホテルオークラ神戸」にて集合研修会の翌日に開かれた、平成29年度第2回理事会で承認されました。つきましては、会員各位へその内容と今後の準3級検定の施行スケジュール等につきまして、以下ご報告いたします。

< 準3級作問規定 >

【見取算】前半4級問題5題(1題45字、減算2題) / 後半3級問題5題(1題50字、減算2題)

【乗算】前後半とも実40字・法30字 / 10題ごと4桁×3桁(8題)、3桁×4桁(1題)、5桁×2桁(1題)

No. 1 ~ 10	No.11 ~ 20
整数×整数=7題	名数×整数=7題
整数×小数=1題	名数×帯小数=1題
帯小数×帯小数=1題	名数×小数=2題
小数×帯小数=1題	

【除算】前後半とも法30字・商30字 / 10題ごと ÷3桁=3桁(8題)、÷2桁=4桁(1題)、÷4桁=2桁(1題)

No. 1 ~ 10	No.11 ~ 20
整数÷整数=7題	名数÷整数=7題
帯小数÷帯小数=2題	名数÷帯小数=1題
小数÷小数=1題	名数÷小数=2題

※ ×÷共通注意事項

無名数では小数第3位まで求めること。
 名数では円単位まで求めること。
 端数処理は無し

※ 作問上の注意

- 実×法、÷法=商とも数字は均等に使うこと。
- 1題の実・法、法・商に同数字は使わないこと。
- 実・法、法・商の首位と末位には0~9までの数字を使うこと。但し、名数問題においては例外とする

3級問題との相違点

	準3級	3級		
乗算	前半	実の小数点問題	2問	3問
		法の小数点問題	3問	5問
	後半	法の小数点問題	3問	5問
		実の小数点問題	2問	4問
除算	前半	法の小数点問題	2問	4問
		実の小数点問題	3問	5問
	後半	法の小数点問題	3問	5問
見取算	(6桁の口数)	2口	4口	

※合格点は4級以下と同じ総合210点(但し、最下点50点) 伝票算は無し

【今後の、準3級施行スケジュール】

▼新設の準3級については、平成30年5月検定より施行。(受験料は4級~6級と同じ1,000円)

※関連する、検定要項、受験者数・合格者数報告書等は新年度始めまでに、支部長経由会員各位へご通知いたします。

珠算・暗算 段位検定試験成績（得点）有効期限変更のお知らせ

かねてより多くの支部からの検討要望がありました段位検定の得点の有効期限につきまして、検定委員会等で検討を重ね、平成 29 年 5 月の理事会でも審議の結果、「有効期限を 2 年間とする」ことで承認されましたので、改めて会員各位へのお知らせを掲載し、各位のご協力をお願いします。

【平成 29 年 9 月に発送の連絡文書】

会 員 各 位

公益社団法人全国珠算学校連盟
会 長 山 中 幸 二
(公印省略)

（珠算・暗算）段位検定試験 成績（得点）有効期限変更のお知らせ

残暑の候、会員の皆様方におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から当連盟の事業活動に対し、格別なる御厚情をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、掲題の件につきまして、得点管理等が無期限では長期にわたり難しいこと、期限を設けることで管理に係わる事務処理の負担を軽減できる等々のご意見が多く寄せられ、本部の検定委員会で検討を重ねて参りました。また、過去の総合段位合格者（昇段者）の得点の持越し期間について検証の結果、2 年以内での昇段者が珠算検定で 99%前後、暗算検定でほぼ 100%となっており、得点の有効期限を設定しても特に問題はないと判断されます。こうした検討結果を踏まえて平成 29 年 5 月 7 日開催の回理事会に於いて「**段位検定の得点の有効期限を 2 年間とする**」(案) が承認され、第 56 回通常総会（6 月 4 日開催）に於きましても、会員の皆様にご報告した次第です。

つきましては、段位検定の成績（得点）有効期限の変更に関し、当連盟の会員の皆様に改めてご理解ご協力を頂きたく、以下の通りご連絡申し上げます。

記

1. 変更後の有効期限：2 年間（珠算・暗算 段位検定試験の成績）※変更前 無期限
2. 適用時期：平成 30 年 5 月施行の段位検定試験から適用する。
※段位申請用紙に平成 30 年度より有効期限を 2 年間と明記いたします。
3. 有効期限の例：（過去 2 年間の得点のみ有効）
 - ◆平成 30 年 5 月検定試験の得点 → 平成 32 年 5 月検定試験まで有効
 - ◆平成 30 年 7 月検定試験の得点 → 平成 32 年 7 月検定試験まで有効
 - ◆平成 28 年 5 月検定試験の得点 → 平成 30 年 5 月検定試験まで有効
 - ◆平成 28 年 7 月検定試験の得点 → 平成 30 年 7 月検定試験まで有効

※平成 28 年 3 月検定試験の得点 → 平成 30 年 5 月検定試験では無効

※得点有効期限の例(図表)

年	平成28年度					平成29年度					平成30年度					平成31年度					平成32年度									
	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3
■																														
■																														
■																														
■																														
■																														

答 案 審 査 会 の 報 告

会報等でご報告しております様に、公益法人移行後の平成 25 年度から毎回の検定試験の後 3 週間内に本部検定委員による答案審査会が実施されているところですが、本部への答案回収につきましては会員の先生方のご協力有難うございます。平成 29 年度 7 月・8 月の検定試験を対象に実施された審査会の結果と「採点時の注意事項」として改善をお願いしたい事項と共に、以下ご報告致しますので、ご協力の程お願い申し上げます。

平成 29 年度 第 3 回「答案審査会」報告書（算数能力検定）

第 3 回の答案審査会を行いましたので、その結果についてご報告いたします。

1. 日時：平成 29 年 7 月 5 日(水) 10:30 ~ 12:40
2. 場所：本部事務局
3. 審査対象検定試験：平成 29 年 6 月 18 日施行の第 68 回算数能力検定試験
4. 審査員：執行部役員 3 名(南雲検定委員長、立木総務委員長、大滝学経対委員長)
5. 審査対象支部：前年に引き続き受験者数の多い支部から 3 支部、少ない支部から 3 支部をピックアップして答案審査。
6. 審査結果：(特記事項など)
 - 答えに「二等辺」と書く所を「二筆辺」と誤字で書いた解答が(○)、式の=(イコール)の後、答えの数字が間違っている解答に(○)の他、単純な誤答に(○)の採点ミス 8 件あり。
 - 「単位」を書いていない答えが(○)になっている答案あり。また、□本のところを□c mと「単位」が間違っている答に(○)の答案あり。
 - **算数検定の採点の際は、正答をしっかりと確認の上、採点すること。**特に 2 審では細心の注意を払って採点するようお願いしたい。

※各支部とも上記の採点ミスを除き、適切に採点されており、概ね良好である。
特に岩手県支部、長野県支部・広島県支部はしっかりと採点している。

以上、「第 3 回検定試験答案審査会」のまとめとして、以下の事柄について会員各位へ**算数検定答案採点注意事項**として会報などを通して通知することとする。

- 算数検定での採点にあたっては、解答表で「正答」をしっかりと確認の上、採点すること。
- また、採点ミスを防止するため、特に 2 審では細心の注意をすること。

平成 29 年度 第 4 回答案審査会報告書

平成 29 年度第 4 回検定試験答案審査会を行いましたので、その結果について、以下ご報告します。

1. 日時：平成 29 年 8 月 10 日(木) 10:30 ～ 12:30
 2. 場所：本部事務局
 3. 審査対象検定試験：7 月 23 日施行の珠算・暗算検定試験
 4. 審査員：検定委員(執行部役員) 3 名(南雲検定委員長、立木総務委員長、大滝学経対委員長)
 5. 審査対象支部：前回に続き受験者数の多い支部と少ない支部から、合計 6 支部を抽出、答案を抜き取って検査。他に、種目別及び総合 10 段合格の答案の審査。
 6. 審査結果：(特記事項など)
 - ・最初に 10 段合格者(総合 7 名、種目別 15 名、合計 22 名)の答案を再審査。
珠算(総合 10 段 3 名、種目別 10 段合格 3 名)、暗算(総合 10 段合格 4 名、種目別 10 段合格 12 名)の内、珠算種目別 10 段合格者の伝票算の答案で、**カンマ以外の点がある答案に(○)の為(×)**、暗算種目別 10 段合格者の除暗算の答案で、正答の数字と全く判読できない答案あり、(×)とし 10 段不合格。該当支部へ種目別 10 段不合格の連絡(生徒へも支部経由その旨連絡)他の珠算総合 10 段、種目別 10 段合格の答案は問題なし。以上の結果を支部長経由教場責任者へ連絡。
 - ・小数点及びコンマの書き方について改善されていない教場あり。
コンマが長すぎて「1」に見えるため、本来(×)。
 - ・見取算の訂正後の答を欄外への記入の際、**矢印・番号無しで(○)の答案あり。**
 - ・採点ミス：(○)が(×)、(×)が(○)になっている答案 3 教場あり。
 - ・本部へ答案を送る際、「検定試験 成績表兼証書授与台帳」が添付されていない教場あり。
3 級以上の、不合格の答案用紙が本部へ発送されていない教場あり。
 - ・採点、1 審 2 審とも○のついていない教場あり。
 - ・段位申請書へ得点を転記する際、点数の記載ミスが見受けられる。
- ※上記の採点上の問題点を改善する様、該当の支部へ連絡済み。

以上、「第 4 回検定試験答案審査会」のまとめとして、以下の事柄について会員各位へ答案採点注意事項として、会報などを通じてお知らせとご協力をお願いする。

- ・小数点及びコンマの正しい書き方の指導を徹底する。間違った書き方をして
いる答案は(×)にして、生徒へしっかり注意・指導をして欲しい。
- ・段位検定試験など高速で書こうとするため判読出来ない数字が多く見られる。
(高速で書く場合でも、数字は正確に丁寧に書くよう指導をお願いする。数字
が判読できない場合は×にし、生徒へ厳しく注意・指導をお願いしたい。)
- ・本部への答案送付の際は、3 級以上の答案用紙と検定試験成績表兼証書授与台
帳を必ず添付する。
- ・段位申請書への点数などの記載は、ミスを防ぐため細心の注意をして欲しい。

「新世代の会勉強会」・「明日の珠算を考える会 2017」開催のお知らせ

今年度も10月1日(日)に第3回「新世代の会 2017 (勉強会)」及び「明日の珠算を考える会 2017」が東京ガーデンパレにて開催されます。開催の案内と参加申込用紙等がすでに支部へ送られておりますので、パンフレットを掲載してお知らせいたします。午前中は全国の珠算教育に携わる若手指導者が集い、珠算塾の経営や生徒募集の課題などについて勉強会を開きます。また、午後は実践的なそろばん授業の進め方や、ホームページの開設を通じた教室の宣伝方法など、新しい情報満載の研修会が期待されます。会員の先生方、多数のご参加をお待ちしております。

会 員 各 位

公益社団法人 全国珠算学校連盟
会 長 山 中 幸 二
新世代の会代表 見目 光治

**新世代の会勉強会
指導者研修会「明日の珠算を考える会」のご案内**

拝啓 会員の先生方におかれましては、いよいよご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃から本連盟の事業活動に対し、何かとご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、下記の要領にて新世代の会勉強会・珠算指導者研修会「明日の珠算を考える会2017」を開催いたしますので、先生方多数のご参加を頂きたいとご案内申し上げます。 敬具

記

会 場 東京ガーデンパレス 東京都文京区湯島1-7-5 ☎ 03-3813-5211
(JR御茶ノ水駅 聖橋口より徒歩5分)

日 時 平成29年10月1日(日)

○新世代の会勉強会 (参加費無料・59歳までの方)

受 付 9:30~9:50 (勉強会会場前ロビー)
勉 強 会 10:00~12:00
発 表 者 富山県 木谷 晋也 先生 (木谷総合学園副学園長)
1都5県に361教室 生徒数10,600名
テ ー マ 珠算塾の経営・運営・PR・後継者問題について思う事
昼 食 12:00~12:30

○珠算指導者研修会 (明日の珠算を考える会2017)

受 付 12:30~12:50 (研修会会場前ロビー)
開 会 13:00
講 演 13:10~16:00
埼玉県 高柳 和之先生 (そろばん教室USA代表)
テ ー マ 元気が一番! ~ただいま、有段者在籍180名~
講 演 16:10~17:00
テ ー マ 東京都 二石 芳裕 様 「ホームページ作成について」
珠算教育ソフトの開発、珠算競技大会・イベント企画、ホームページ作成等の技術サポート
閉 会 17:00 (途中、適宜休憩を入れながらの研修となります。)

○参 加 費 2,000円 (本連盟会員及び教職員) / 会員外 5,000円

申 込 方 法 各支部は参加者名簿と参加費を取りまとめの上、9月22日(金)までに本部事務局宛てお送りください。各支部での受付:9月19日(火)まで

----- きりとりせん -----

新世代の会勉強会・指導者研修会「明日の珠算を考える会」 参加申込書

該当欄に記入の上、丸を付けて提出して下さい。 支部 責任者名

No.	お 名 前	指導者研修会	会員・会員外	新世代の会
1		参・不	会員・外	参・不
2		参・不	会員・外	参・不
3		参・不	会員・外	参・不
4		参・不	会員・外	参・不

モンゴル珠算教育事情視察の報告

学校連盟の正会員で競技大会などにも参加頂いているモンゴル珠算教育協会々長のトゥムルバートル・デレグ先生のお招きで、8月2日～6日にモンゴルを訪問し、珠算教育の現状などを視察する機会を得られましたので以下ご報告致します。同時に視察したウランバートル市内の珠算教室や、チロンバートルモンゴル文科省大臣及び高岡在モンゴル日本大使表敬訪問の様相なども併せてご報告致します。

- ◆訪問先 トゥムルバートルさんが運営するウランバートル市内の二つの珠算教室の見学、
モンゴル文部科学省大臣、駐モンゴル高岡正人特命全権大使表敬訪問など
- ◆参加者 全国珠算学校連盟関係者：山中会長、大滝常任理事、鈴木監事、木股事務局長

▽8月3日午前モンゴル文部科学省を訪ね、チロンバートル文部科学大臣に面会し、そろばん教育の現状など意見交換。そろばん教育の普及に協力いただき感謝している、またモンゴルの子供たちに更にそろばん学習が広まることを望んでいる。そろばんは日本の文化に深く根差しており、珠算教育を通して日本との友好が深まることを望んでいる。モンゴル・日本の国交45周年の年にあたり、様々なイベントが催されているが、その一環として「そろばんオリンピック大会」には全面的協力したい。今後とも小学校の授業に入るよう努力するので、情報提供などご協力いただきたい。これまでの山中会長始め、学校連盟の支援・協力に大変感謝しているが、今後ともモンゴル算盤教育協会を通じてご支援を宜しくお願いしたいとの言葉をいただきました。



チロンバートル文部科学大臣と



大臣と珠算教育について意見交換



スレンチュローン文化教育部長と

▽同日8月3日 モンゴル文部科学省の後、日本大使館を訪問、駐モンゴルの高岡大使に面会しました。大使のお話では、モンゴルではとても教育熱心でそろばん教育もますます普及すると期待している。また、日本との繋がりも深く親日的で日本への留学経験者も多く、人材は豊富であるとのことでした。11月のそろばんの競技大会には是非出席したい。なお、トゥムルバートル氏より珠算教育の現状などの説明をし、日本文化に根差した算盤教育を広める様、努力したいとの抱負など述べられ、大使からも出来るだけ協力したいとの言葉がありました。



高岡大使と意見交換



高岡大使と



高岡大使と意見交換

▽8月3日午後 学校連盟正会員のトゥムルバートル先生の二つの珠算教室を見学。先生は、ウランバートル市内に8教室を展開し、週2回の授業を中心に現在500名余の生徒が熱心にそろばん学習をしている。毎年10月には、モンゴルそろばんオリンピックを開催し珠算教育の普及に努めている。また、大会には駐モンゴル高岡大使も駆けつけるとのことでした。これから益々の珠算教育の発展が期待され、学校連盟としても支援を続けたいと考えています。



ウランバートルの珠算教室で



生徒と先生と



熱心にそろばん学習する生徒達

2018 年主要行事及び検定試験予定について

8月24日の理事会にて報告、承認されました2018年学校連盟の主要行事の予定及び検定試験の施行日について、以下の通り、お知らせいたします。

2018年（平成30年） 主要行事予定表		
月・日	内容	場所
1月8日（月・祝）	常任理事会	横浜
2月25日（日）	理事会（予算）・全国支部長会	東京
4月8日（日）	監査会・常任理事会	本部事務局
5月6日（日）	理事会（決算）	東京
6月3日（日）	理事会	東京
	第57回通常総会	
7月30日（月）	第37回全日本珠算技能競技大会	東京
8月19日（日）	第47回全国珠算学校集合研修会・懇親会	横浜
	常任理事会・理事会（午前）	
10月7日（日）	第4回「新世代の会2018」	東京
	第10回指導者研修会「明日の珠算を考える会2018」	
11月18日（日）	監査会・常任理事会	本部事務局

2018・2019（平成30・31年）
全国珠算技能検定試験施行日
後援 文部科学省

年	月・日	◆珠算	
		（級）	（段位）
2018年 (H30年)	1月28日	第310回	第257回
	3月25日	第311回	第258回
	5月27日	第312回	第259回
	7月22日	第313回	第260回
	9月23日	第314回	第261回
	11月25日	第315回	第262回
2019年 (H31年)	1月27日	第316回	第263回
	3月24日	第317回	第264回
	5月27日	第318回	第265回
	7月28日	第319回	第266回
	9月22日	第320回	第267回
	11月24日	第321回	第268回

年	月・日	◆暗算	
		（級）	（段位）
2018年 (H30年)	1月28日	第266回	第185回
	3月25日	第267回	第186回
	5月27日	第268回	第187回
	7月22日	第269回	第188回
	9月23日	第270回	第189回
	11月25日	第271回	第190回
2019年 (H31年)	1月27日	第272回	第191回
	3月24日	第273回	第192回
	5月27日	第274回	第193回
	7月28日	第275回	第194回
	9月22日	第276回	第195回
	11月24日	第277回	第196回

2018・2019（平成30・31年）
全国算数能力検定試験施行日
後援 文部科学省

年	月・日	回数	期
2018年 (H30年)	2月18日	第70回	後期
	6月17日	第71回	前期
	10月21日	第72回	中期
2019年 (H31年)	2月17日	第73回	後期
	6月16日	第74回	前期
	10月20日	第75回	中期

※2018年 全珠学連「会員手帳」に掲載予定

《編 集 後 記》

▽今年も早9月に入り、2学期が始まりました。先生方におかれましては、大変お忙しいことと存じます。地球温暖化の影響により全国各地で頻繁に局地的豪雨があり、大変な災害に見舞われている地域が多くあります。被災地の方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、第36回全日本珠算技能競技大会には、全国各地より多数のご参加をいただき有難うございました。今年度は競技会場が変更になり、何かとご不便をお掛けしたかと思いますが、大会役員並びに引率の先生方のご協力により、無事終了する事が出来ました。心よりお礼申し上げます。また、8月に兵庫県神戸市で開催された第46回全国珠算学校集合研修会には暑い中、ご参加いただき有難うございました。今回は新しい試みとして、研修会の参加者受付の後、開講式から始まり、第1講から第3講までの講演終了後、懇親会と続き、クルージングにより神戸の夜景を見ながらの夕食会となりましたが、如何でしたでしょうか。兵庫県支部として前回までの様なおもてなしが出来ませんでした。大勢の先生方のご参加をいただき有難うございました。無事に終了できましたこと、支部会員一同、重ねて感謝申し上げます。当連盟では今年度後半にも、様々な行事が予定されております。諸先生方多数のご参加とご協力をお願い申し上げます。

(広報委員長 蓮井慶太郎)

▽今年も全国的にもあまり夏らしくない不順な天気が続きましたが、蒸し暑い中7月31日に第36回全日本珠算技能競技大会が開催されました。オリンピックセンターに会場を変更したこともあり準備時間が十分取れず、バタバタした感がありましたが、モンゴルからの7名含め全国各地から244名の選手が参加し熱戦が展開されました。役員の方、引率の皆様のご協力に感謝いたします。8月の集合研修会では、兵庫県支部の先生方のご協力の下、大変有意義な研修会となりました。なお、ご案内の通り10月1日には「新世代の会勉強会」と「指導者研修会」が東京ガーデンパレスで開催されます。諸先生方、多数の参加の下、珠算界の課題など実りある意見交換会となることを期待しております。

また、かねてから要望が出ていた珠算準3級の新設について、8月の理事会での審議を経て問題の内容・程度等が決定しましたので、関連する報告を掲載しております。来年の5月からの施行に向けて先生方のご協力をお願いしたいと存じます。

(本部事務局 木股)

会 報 第274号

発行日 平成29年9月30日

発行所 公益社団法人 全国珠算学校連盟

〒464-0850 名古屋市千種区今池3丁目1-3

TEL (052) 732-5051

FAX (052) 733-5413

<http://shuzan-gakko.com/>

E-mail : info@shuzan-gakko.com

発行人 会 長 山 中 幸 二

編集人 広報委員長 蓮 井 慶 太 郎

